溶出試験 本品 1 個をとり、試験液に水 900mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う.溶出試験開始 45 分後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 0.45μm 以下のメンブランフィルターでろ過する.初めのろ液 10mLを除き、次のろ液を試料溶液とする.別にピロキシカム標準品を 105 で 3 時間乾燥し、表示量の 2 倍量を精密に量り、メタノールに溶かし、正確に 20mLとする.この液 2mLを正確に量り、水を加えて正確に 200mLとし、標準溶液とする.試料溶液及び標準溶液につき、吸光度測定法により試験を行い、波長251nm における吸光度 AT 及び AS を測定する.

本品の 45 分間の溶出率が 70%以上のときは適合とする.

ピロキシカム ($C_{15}H_{13}N_3O_4S$) の表示量に対する溶出率 (%)

 $AT \qquad 1$ $= WS \times \times \times \times 45$ $AS \qquad C$

WS: ピロキシカム標準品の量(mg)

C:1錠中のピロキシカム($C_{15}H_{13}N_3O_4S$)の表示量(mg)

ピロキシカム標準品 日本薬局方外医薬品規格「ピロキシカム」. ただし, 乾燥 したものを定量するとき, ピロキシカム($C_{15}H_{13}N_3O_4S$)99.0%以上を含むもの.

ピロキシカム 10 mg カプセル

溶出試験 本品 1 個をとり,試験液に水 900 mL を用い,溶出試験法第 2 法により,毎分 50 回転で試験を行う.溶出試験開始 60 分後,溶出液 20 mL 以上をとり,孔径 0.45 μm 以下のメンブランフィルターでろ過する.初めのろ液 10 mLを除き,次のろ液を試料溶液とする.別にピロキシカム標準品を 105 で 3 時間乾燥し,表示量の 2 倍量を精密に量り,メタノールに溶かし,正確に 20 mLとする.この液 2 mLを正確に量り,水を加えて正確に 200 mLとし,標準溶液とする.試料溶液及び標準溶液につき,水を対照とし,紫外可視吸光度測定法により試験を行い,波長 251 nm における吸光度 AT 及び AS を測定する.

本品の 60 分間の溶出率が 75%以上のときは適合とする.

ピロキシカム ($C_{15}H_{13}N_3O_4S$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 45$$

Ws: ピロキシカム標準品の量(mg)

C:1 カプセル中のピロキシカム ($C_{15}H_{13}N_3O_4S$) の表示量 (mg)

ピロキシカム標準品 日本薬局方外医薬品規格「ピロキシカム」. ただし,乾燥したものを定量するとき、ピロキシカム($C_{15}H_{13}N_3O_4S$)99.0%以上を含むもの.

ピロキシカム 20 mg カプセル

溶出試験 本品 1 個をとり,試験液に水 900 mL を用い,溶出試験法第 2 法により,毎分 50 回転で試験を行う.溶出試験開始 90 分後,溶出液 20 mL 以上をとり,孔径 0.45 μm 以下のメンブランフィルターでろ過する.初めのろ液 10 mLを除き,次のろ液を試料溶液とする.別にピロキシカム標準品を 105 で 3 時間乾燥し,表示量の 2 倍量を精密に量り,メタノールに溶かし,正確に 20 mLとする.この液 2 mLを正確に量り,水を加えて正確に 200 mLとし,標準溶液とする.試料溶液及び標準溶液につき,水を対照とし,紫外可視吸光度測定法により試験を行い,波長 251 nm における吸光度 AT 及び AS を測定する.

本品の 90 分間の溶出率が 75%以上のときは適合とする.

ピロキシカム ($C_{15}H_{13}N_3O_4S$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 45$$

Ws: ピロキシカム標準品の量(mg)

C:1 カプセル中のピロキシカム ($C_{15}H_{13}N_3O_4S$) の表示量 (mg)

ピロキシカム標準品 日本薬局方外医薬品規格「ピロキシカム」. ただし,乾燥したものを定量するとき、ピロキシカム($C_{15}H_{13}N_3O_4S$)99.0%以上を含むもの.